

主要施策名:(3)スポーツ活動の充実

事務事業本数:7

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
②人と文化を育む地域づくり	(3)スポーツ活動の充実	(1)生涯スポーツ活動の普及振興	231-1	市民スポーツ振興事業	スポーツ振興課
			231-2	マラソン大会運営事業	スポーツ振興課
		(2)競技スポーツの組織強化と指導者の育成	232-1	体育団体運営支援事業	スポーツ振興課
			232-2	競技スポーツ大会補助事業	スポーツ振興課
			232-3	国際スポーツ大会キャンプ誘致等推進事業	スポーツ振興課
		(3)体育施設の整備充実と利用促進	233-1	体育施設管理運営事業	スポーツ振興課
			233-2	多目的競技場建設事業	スポーツ振興課

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市民スポーツ振興事業		所管課 【2】	スポーツ振興課			
			作成者(担当者)	川口 勝太			
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり ③スポーツ活動の充実				重点施策 【4】	
	主要施策(節)	(1)生涯スポーツ活動の普及振興				□ 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 スポーツ基本法 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画、玉名市スポーツ推進計画 】				□ 該当なし		
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務						
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】				】	款 10 項 6 目 1 細目 2	

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	地域生涯スポーツを通して、健康づくり、体力づくりへの意識を向上させる必要があるとともに、全市的なスポーツレクリエーションの実施により、市民の交流、地域間の融和を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	玉名市民、公民館支館
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	地域生涯スポーツや地域間の融和を目的としたスポーツ交流事業の推進により、スポーツを通じた市民の交流や生涯を通じての健康の保持、増進及び余暇活動の充実を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ 【 年度】	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し 【 H17 年度から】	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的な内容 【14】	<p>【15】 事務事業を構成する細事業(3)本</p> <p>⇒</p> <p>① スポーツ事故見舞金</p> <p>② 地域スポーツ振興委託事業</p> <p>③ 全国巡回ラジオ体操事業</p>		

《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)～	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	2,413	1,158	945	1,156
		【16】 小計	2,413	1,158	945	1,156
		【再掲】臨時・非常勤職員人件費(千円)	0			
	職員人件の費	職員人工数	0.50	0.59	0.54	0.35
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
		会計年度任用職員人工数		0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,786
		【17】 小計	2,738	3,231	2,820	1,896
		合計	5,151	4,389	3,765	3,052

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的な内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
①	スポーツ事故見舞金	スポーツ大会での怪我等に対する見舞金。	見舞金件数	件数	0	0	0	0
②	地域スポーツ振興委託事業	各支館にて実施するスポーツ行事振興委託。	委託支館数	支館	21	21	21	21
③	全国巡回ラジオ体操事業	大河ドラマ「いだてん」の放映に併せて実施される全国巡回ラジオ体操事業。	ラジオ体操件数	件数	0	1	0	0

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(市民スポーツ大会参加者数)	R01年度決算		R02年度決算		R03年度決算		R04年度予算	
		1131	0	4,389	3,765	3,052	0	0.00%	(一)
	投入コスト合計(千円)	5,151							
	対象1単位あたりのコスト(千円)	5	0	0	0	0			
	コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(一)	0.00%	(一)	0.00%	(一)	

《事務事業の成果》 【20】

	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
				R01実績	R02実績	R03実績	
1	市民スポーツ大会参加者数(全市民対象事業)	市民スポーツ大会、スポレクフェア及び支館対抗駅伝の合計参加者数	人	1600	1200	150	150
				1131	0	0	
2							
* 成果未達成時の理由		新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から行事が中止になったため。また、令和3年度から市民スポーツ大会は玉名市スポーツ協会に業務移管、支館対抗駅伝大会は玉名市スポーツ推進委員協議会に業務移管している。					

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令等で義務づけられている		妥当性評価
	<input type="checkbox"/> 法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす		
	<input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている		
	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている		
	<input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる		a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている		
	<input type="checkbox"/> 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		b
効率性	<input type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している		効率性評価
	<input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい		
	<input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である		
	<input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		b
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している		有効性評価
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した		
	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない		
	<input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる		
	<input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい		b
【23】	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している		a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		
公平性	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある → <input type="checkbox"/> 金額が妥当		有効性評価
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担が無い → <input type="checkbox"/> 設定できる		a 高い b やや高い c やや低い d 低い
【24】		■・設定できない理由(受益者負担はなじまない)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況		新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から多くの行事が中止になった。 市民スポーツ大会については、令和3年度から玉名市スポーツ協会へ業務移管したが、スポレクフェアのスポーツ推進委員協議会への業務移管については、検討を行ったが結論には至らなかった。 玉名市社会体育施設の感染拡大予防ガイドラインを作成した。
今後の方向性	【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 ■ 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容		スポレクフェアについて、玉名市スポーツ推進委員協議会が大部分の業務を担っているため今後も業務移管の検討を行う。
次年度への予算反映(運動)		<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)
【27】		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	コロナ禍においてすべての事業が縮小又は、延期中止されているものの、出来る限りの業務遂行が出来た。今後もコロナの状況を見据えながら業務遂行を行う。	評価責任者
【28】		小山 晃生

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	マラソン大会運営事業		所管課 【2】	スポーツ振興課					
	作成者(担当者)		西村 誠						
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり				重点 施策 【4】			
	主要施策(節)	(3)スポーツ活動の充実							
	施策区分	(1)生涯スポーツ活動の普及振興				□ 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【玉名市教育振興基本計画】				□ 該当なし				
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務				<input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計				<input type="checkbox"/> 特別・企業会計【】				
						款 10 項 6 目 1 細目 9			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	スポーツを通じて、心身ともに健康な身体を保持し、又、健康づくりや体力づくりに励む多くの市民を育てるなか、市外や県外の方に、特産品のPRや地域活性化にもつながるような施策を取り組む必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	参加者、市民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	スポーツを通じた健康づくりの推進と地域活性化を図るとともに、日本マラソンの父 金栗四三氏にちなんだ熊本県北初となるフルマラソン大会を開催する。また、横島いちごマラソンを同時開催し、いちご・トマトやみかんなどの特産品や観光など市内外にPRする場として活用する。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し 【年度】 【H30 年度から】	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【年度～年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間	<input checked="" type="checkbox"/> その他【実行委員会】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【】
事務事業の具体的な内容 【14】	マラソンを通しての健康促進、特産物を生かした地域とのふれあいを目的とし、平成31年度の大会よりフルマラソン大会を設け補助金交付と参加料収入で実行委員会により開催する。横島町いちごマラソン大会(5コース15部門)と同時開催となる。	<p>【15】 事務事業を構成する細事業(1)本</p> <p>➡</p> <p>① マラソン大会運営業務</p> <p>②</p> <p>③</p>

《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (~千円~)	国庫支出金	5,411	480	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	9,213	491	1,175	29,358
		【16】小計	14,624	971	1,175	29,358
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	601			
	職員人件費	職員人工数	1.70	2.90	2.69	2.69
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
		会計年度任用職員人工数		0.00	0.00	2.00
				1,950	1,632	1,786
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)				
		【17】小計	9,309	15,880	14,050	18,146
		合計	23,933	16,851	15,225	47,504

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的な内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
①	マラソン大会運営業務	実行委員会を開催する。	実行委員会等開催回数	回	4	3	4	4
②								
③								

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	対象(大会参加者数(全体))	R01年度決算		R02年度決算		R03年度決算		R04年度予算	
		7090	0	23,933	16,851	15,225	47,504		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	3	0		0	0	6		
	コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(一)	0.00%	(一)	0.00%	(一)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
1	大会参加者数(全体)			R01実績	R02実績	R03実績	
1	大会参加者数(全体)	延べ参加者数	人	8000	8000	8000	8000
				7090	0	0	
2	大会参加者数(市外)	延べ参加者数(市外)	人	7000	7000	7000	8000
				6372	0	0	
* 成果未達成時の理由		新型コロナウィルス感染症拡大の影響により大会中止のため。					

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令等で義務づけられている	・市が事業へ関与する必要が薄れている ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である ■ 事業開始当初の目的から変化してきている □ 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> 法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす		
	<input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている		
	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている		
	<input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる		c
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている		
効率性	<input type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げるなどにより、コスト削減の余地がある ■ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい		
	<input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である		
	<input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げるなどにより、コスト削減の余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		b
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している	・成果指標を設定している ・成果指標の目標値を達成した □ 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない □ 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる □ 法定事務であり成果は求めにくい ■ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している ■ 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している □ 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した		
	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない		
	<input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる		
	<input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい		b
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している		b
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している		
<input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある			
公平性	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある → <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	・負担率【 0.00 %】	【24】
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担が無い → <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由(実行委員会での運営のため、実行委員会へ受益者負担あり)		

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	新型コロナウィルス感染症の影響により3年連続の大会延期で開催できていないため、開催後に大会全般の見直しを実施する。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	新型コロナウィルス感染症の影響により大会が実施できていないことから、本事業の成果に対する評価については大会開催後にコースも含めた大会の在り方について検討及び見直しを行っていく必要がある。		
次年度への予算反映(運動) [27]	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	新型コロナウィルス感染症の影響により大会が実施できていないことから、本事業による成果が分からず状況である。しかしながら、昨年度同様にコースの微調整(コース変更)、道路工事等に伴う案内看板や距離表示看板等の再設置等おこなっている。最近では、大きな大会もコロナ対策を万全に行なっている。開催しているため、本市においてもコロナ対策を万全に行なうことができるようになると考えている。	評価責任者
		小山 晃生

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	体育団体運営支援事業		所管課 【2】	スポーツ振興課					
	作成者(担当者)		川口 勝太						
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり ③スポーツ活動の充実				重点施策 【4】			
	主要施策(節)	(2)競技スポーツの組織強化と指導者の育成				□ 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 スポーツ基本法、スポーツ推進委員に関する規則 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画、玉名市スポーツ推進計画 】				□ 該当なし				
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務				<input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計				<input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 6 目 1 細目 3 】				

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	各スポーツ団体の融和や各種目スポーツの競技力の向上、社会体育指導者の育成を図るためスポーツ団体組織への支援と組織力の強化が必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	玉名市スポーツ協会、玉名市スポーツ推進委員協議会及び熊本県スポーツ協会の活動
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	各競技スポーツの育成及び競技力の向上、地域生涯スポーツの推進と地域間の融和を目的としたスポーツ交流事業の推進による生涯スポーツの充実を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 【 年度】 <input type="checkbox"/> 【 H17 年度から】	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 【 H17 年度から】	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 <input type="checkbox"/> 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間	<input type="checkbox"/> 民間	<input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負	<input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付	<input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的な内容 【14】	<p>競技スポーツの競技力向上や選手又は指導者の育成、地域スポーツ活動の普及促進を図るために、玉名市スポーツ協会や玉名市スポーツ推進委員協議会等の運営や活動に対して、補助金等を交付する。</p>		
	<p>【15】 事務事業を構成する細事業(3)本</p> <p>⇒</p> <p>① 玉名市スポーツ協会補助金事業 ② スポーツ推進委員協議会等運営事業 ③ 熊本県スポーツ協会スポーツ振興事業</p>		

《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 （千円）	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	13,886	7,082	3,714	12,636
		【16】 小計	13,886	7,082	3,714	12,636
		【再掲】臨時・非常勤職員人件費(千円)	0			
	職員人件費	職員人工数	1.85	0.84	0.84	1.10
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
		会計年度任用職員人工数		0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,786
		【17】 小計	10,131	4,600	4,387	5,960
		合計	24,017	11,682	8,101	18,596

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的な内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
①	玉名市スポーツ協会補助金事業	スポーツ協会全体及び種目協会に補助し、競技力を向上させる。	交付件数(審判講習会、スポーツ教室補助金)	件	16	8	11	20
②	スポーツ推進委員協議会等運営事業	スポーツ推進委員協議会への活動補助を行い、活動の推進を行う。	研修会参加数(全国、九州、県、市、新任研修会)	回	5	0	2	5
③	熊本県スポーツ協会スポーツ振興事業	県スポーツ協会への負担金を納め、活動支援を行う。	負担金交付件数	件	1	1	1	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(市協会加盟団体数)	R01年度決算		R02年度決算		R03年度決算		R04年度予算	
		34	34	11,682	8,101	18,596	35		
	投入コスト合計(千円)	24,017							
	対象1単位あたりのコスト(千円)	706		344	231			531	
	コスト評価(対前年比)	***	205.23%	(↑)	148.92%	(↑)	43.50%	(↓)	

《事務事業の成果》 【20】

	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
				R01実績	R02実績	R03実績	
1	県民体育祭総合順位	県民体育祭出場全種目の男女総合順位	位	5	5	5	5
2				9	—	—	
* 成果未達成時の理由		新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から大会が中止になったため。					

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令等で義務づけられている		妥当性評価
	<input type="checkbox"/> 法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす		
	<input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている		
	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている		
	<input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる		
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている		
効率性	<input type="checkbox"/> 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		効率性評価
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい		
	<input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である		
	<input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げるなどにより、コスト削減の余地がある		
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している		有効性評価
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した		
	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない		
	<input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる		
	<input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい		
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している		
公平性	<input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		c
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある → <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる 負担率【 0.00 %】		
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担が無い → <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由(受益者負担になじまない)		【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	事業実施のためコロナ禍での実施方法を検討したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から多くの事業が中止になった。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	玉名市スポーツ協会及び玉名市スポーツ推進委員協議会への支援は、今後も現状のまま継続する。また、各競技団体や施設と協議を行い、コロナ禍で実施できる方法を検討する。
次年度への予算反映(運動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、多くの事業が中止、延期となる中で、出来る限りの業務をおこなった。今後は、コロナ禍において開催できる事業、出来ない事業を明確にし、出来る業務を積極的に行う。	評価責任者
【28】		小山 晃生

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	競技スポーツ大会補助事業		所管課 【2】	スポーツ振興課			
	作成者(担当者)		明石 和貴				
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり ③スポーツ活動の充実				重点施策 【4】	
	主要施策(節)	(2)競技スポーツの組織強化と指導者の育成				□ 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 スポーツ基本法、玉名市全国大会等出場激励金交付要綱 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画、玉名市スポーツ推進計画 】				<input type="checkbox"/> 該当なし		
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務						
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【				】	款 10 項 6 目 1 細目 4	

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	各種競技スポーツ大会が盛んになっており、小学生から全国大会へ出場する子供たちも増加している。また本市で例年開催されている競技についても、若手選手の育成を目的に実施している伝統競技など、その開催運営費について支援が必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	全国大会及び国際大会出場選手(玉名市民に限る)、各大会運営実行委員会
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	全国大会等への出場選手並びにスムーズかつ盛会な競技大会の運営のために補助金等を交付し、競技スポーツの活性化及び向上を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ 【 年度】	<input checked="" type="checkbox"/> 单年度繰返し 【 H17 年度から】	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【		】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【		】
事務事業の具体的な内容 【14】	<p>本市のスポーツ振興と競技力の向上を図るため、全国大会出場者に対して1万円、国際大会出場者に対して2万円の激励金の交付を行う。また、各競技大会実行委員会に対して大会運営補助を行う。</p> <p>【15】 事務事業を構成する細事業(4)本</p> <p>⇒</p> <p>① 全国大会出場激励金交付事業</p> <p>② 金栗杯玉名ハーフマラソン大会事業</p> <p>③ くまもと玉名杯全九州高等学校レスリング大会補助金事業</p>		

《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 （千円）	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	5,801	310	760	2,600
		【16】 小計	5,801	310	760	11,724
		【再掲】臨時・非常勤職員人件費(千円)	0			11,724
	職員人件費	職員人工数	1.35	0.59	0.24	1.20
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
		会計年度任用職員人工数		0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,786
		【17】 小計	7,393	3,231	1,254	6,502
		合計	13,194	3,541	2,014	20,826

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的な内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
①	全国大会出場激励金交付事業	全国大会以上の大会に出場する市民に対して激励金を交付する。	激励金交付者数	人	106	31	66	150
②	金栗杯玉名ハーフマラソン大会事業	実行委員会に対して補助を行い大会を支援する。	開催回数	回	0	0	0	1
③	くまもと玉名杯全九州高等学校レスリング大会補助金事業	実行委員会に対して補助を行い大会を支援する。	開催回数	回	1	0	1	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(スポーツ大会参加者数)	R01年度決算		R02年度決算		R03年度決算		R04年度予算	
		52	0	3,541	2,014	1100	20,826		
	投入コスト合計(千円)	13,194		0	35		19		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	254							
	コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(一)	0.00%	(一)	184.21%	(↑)	

《事務事業の成果》 【20】

	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
				R01実績	R02実績	R03実績	
1	競技スポーツ大会参加者数	参加者数(玉名ハーフ、レスリング、駅伝)	人	1200	1100	1100	1100
				52	0	58	
2							

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため大会中止。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令等で義務づけられている		妥当性評価
	<input type="checkbox"/> 法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす		
	<input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている		
	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている		
	<input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる		b
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている		
効率性	<input type="checkbox"/> 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		効率性評価
	<input type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい		
	<input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である		
	<input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げるなどにより、コスト削減の余地がある		b
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している		有効性評価
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した		
	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない		
	<input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる		
	<input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい		b
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している		
公平性	<input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる 負担率【 0.00 %】		
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由(補助事業のため)		【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	大会継続・振興に努めたが新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、レスリング大会以外は中止となってしまった。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	金栗四三氏を冠としたハーフマラソン大会や金栗駅伝大会は、各地で大会終了が相次いでいる中で歴史と伝統のあるものとなっている。 全九州高等学校レスリング大会は本市で国体や高校総体が開催されており、レスリングのまちづくりとしてイメージ構築がなされている。 全国大会等出場激励金については市民が全国大会へ出場する際の激励奮起のため、今後も協議を続ける必要がある。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	全国大会出場激励金交付事業においては各種競技の選手が全国規模の大会で奮闘してもらうための激励、金栗杯玉名ハーフマラソン大会事業は長年継続して開催しており今後も継続して事業を行う。近年はコロナ禍により中止延期の大会が多いが、今後のWithコロナを考えながら開催できるようにしたいと考える。	
[28]	評価責任者 小山 晃生	

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	国際スポーツ大会キャンプ誘致等推進事業		所管課 【2】	スポーツ振興課					
	作成者(担当者)		酒井 裕之						
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり (3)スポーツ活動の充実				重点 施策 【4】			
	主要施策(節)	(2)競技スポーツの組織強化と指導者の育成				□ 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市スポーツ基本計画、玉名市スポーツ推進計画】				□ 該当なし				
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務								
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【				】	款 10 項 6 目 1 細目 7			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	2019年ラグビーワールドカップ熊本県開催、2019女子ハンドボール世界選手権大会熊本開催、2021年に延期された東京オリンピック開催など、国際スポーツに対し注目されてきている。国際大会や全国大会の誘致はもちろんのこと、実業団や大学、高校等のスポーツ合宿地や練習会場地として誘致に向けた情報発信を行い、観光や地域活性化を図っていく必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	アンゴラ共和国オリンピック出場選手(女子ハンドボール)、実業団や大学、高校等の各種競技団体、市内小中学生
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	国際スポーツ大会等のキャンプ誘致を行うことで、スポーツに対する関心を高めるとともに競技力の向上を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ 【 年度】	<input checked="" type="checkbox"/> 单年度繰返し 【 H28 年度から】	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【		】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【		】
事務事業の具体的な内容 【14】	<p>アンゴラ共和国のホストタウン自治体として東京2020オリンピック競技大会に出場する女子ハンドボール代表チームの事前キャンプ受入れを行い、市民(小中学生)と交流を行う。</p> <p>また、筑波大学と県・1市2町の包括連携協定締結により、筑波大学陸上部駅伝チームの合宿受入を行っている。</p>		
	<p>【15】 事務事業を構成する細事業(3)本</p> <p>① アンゴラ共和国代表選手団事前キャンプ誘致事業 ② アンゴラ女子ハンドボールチーム事前キャンプ誘致事業(R2線) ③ スポーツ合宿誘致等推進事業</p>		

《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 （千円）	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	1,000	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	931	0	0	0
		一般財源	6,031	369	1,087	0
		【16】 小計	7,962	369	1,087	0
		【再掲】臨時・非常勤職員人件費(千円)	0			
	職員人件費	職員人工数	1.65	1.25	1.50	0.00
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
		会計年度任用職員人工数		0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,786
		【17】 小計	9,035	6,845	7,835	0
		合計	16,997	7,214	8,922	0

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
①	アンゴラ共和国代表選手団事前キャンプ誘致事業	情報発信、講演会や教室	実施数	回	6	4	1	***
②	アンゴラ女子ハンドボールチーム事前キャンプ誘致事業(R2線)	スポーツ合宿	実施数	校	1	1	1	***
③	スポーツ合宿誘致等推進事業	体験型授業	実施数	回	6	0	0	***

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	対象(市民)	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
		66319	65817	65189	64303
	投入コスト合計(千円)	16,997	7,214	8,922	0
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
	コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(一)	0.00% (一)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
1	2			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1	国際スポーツ大会等キャンプ誘致数	キャンプ誘致数(国内チーム含む)	件	1	2	2	***
2	国際スポーツ大会に係る講演会等の開催数	あすチャレスクール実施回数 (車椅子バスケ、パラアスリート体験型授業)	校	6	6	0	***
* 成果未達成時の理由				6	0	0	

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果		
妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令等で義務づけられている		妥当性評価		
	<input type="checkbox"/> 法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす				
	<input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている				
	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている				
	<input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる		a 高い b やや高い c やや低い d 低い		
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である				
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている				
	<input type="checkbox"/> 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		b		
効率性	<input type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している		効率性評価		
	<input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい				
	<input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である				
	<input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げるなどにより、コスト削減の余地がある				
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		b		
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している		有効性評価		
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した				
	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない				
	<input checked="" type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる				
	<input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい		b		
【23】	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している		a 高い b やや高い c やや低い d 低い		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している				
	<input type="checkbox"/> 国/県・民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ ■ 金額が妥当		・金額が高すぎる、または安すぎる		・負担率【 0.00 %】
	<input type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ □ 設定できる		□ 設定できない理由()		【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、アンゴラ女子ハンドボール代表チームの玉名市での事前キャンプを実施した。
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	東京オリンピック・パラリンピック終了に伴い事業休止。 なお、スポーツ合宿誘致等推進事業は「体育団体運営支援事業」に移管し継続。
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	2020東京オリンピックが延期となり事前合宿も2021年度に延期され、コロナ禍ではあったものの開催され、事前合宿も実現できた。当初目的の一つである市民との交流は感染予防の観点からできなかったものの、郵便局の協力を受け、リモートにより、昨年手紙を選手へ届けた中学生と選手との交流が実現した。玉名中学ハンドボール部においても、リモートながら、アンゴラチームの監督コーチより指導を受けるなどの交流も行い、指導を受けた生徒からはオリンピックチームのコーチから指導してもら自身が着いたと喜びの声も聞かれた。6泊7日と短い合宿期間ではあったが、それなりの意義があったと考える。恩返しの意味を込めて、オリンピック開会式の入場行進ではタマにやんマスクで行進を行ってくれた。	評価責任者 小山 晃生
-------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	体育施設管理運営事業		所管課 【2】	スポーツ振興課					
	作成者(担当者)		明石 和貴						
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり (3)スポーツ活動の充実				重点 施策 【4】			
	主要施策(節)	(3)体育施設の整備充実と利用促進				□ 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 スポーツ基本法、各施設条例及び条例施行規則 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画、玉名市公共施設適正配置計画、玉名市スポーツ推進計画 】				□ 該当なし				
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務								
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【				】	款 10 項 6 目 5 細目 1			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	スポーツ活動、健康づくり等の拠点施設として、適正な運営、維持管理が必要である。また、建設から相当の年数が経過している施設の改修など適正な管理運営が必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	有料公園施設及び社会体育施設(19施設)の利用者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	安心・安全な施設の維持管理を行うとともに、体育施設の有効利用、公平な貸出など利用者が平等に利用することができ、健康づくりや余暇活動のスポーツ拠点としての施設機能の充実を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ 【 年度】	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し 【 H17 年度から】	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【		】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【		】
事務事業の具体的な内容 【14】	<p>適正な施設の管理運営を行うにあたり、施設の改修事業をはじめ、体育備品の管理や施設使用料の適正化を図り、指定管理者制度の導入により、市民はもとより市外の利用者にとっても、安心・安全・平等な利用ができる施設として、利用者の増を図る。</p>		
	<p>【15】 事務事業を構成する細事業(19)本</p> <p>⇒</p> <p>① 桃田運動公園管理運営事業</p> <p>② 桃田運動公園指定管理事業</p> <p>③ 岱明、横島、天水地区施設管理運営事業</p>		

《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 （千円）	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	100,700	0	0
		受益者負担	2,127	1,088	678	19,161
		その他	4,483	73,318	15,983	739
		一般財源	143,421	136,997	131,301	114,735
		【16】 小計	150,031	312,103	147,962	260,035
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	502			
	職員人件費	職員人工数	0.70	1.79	2.14	2.30
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
		会計年度任用職員人工数		0.50	0.50	0.50
				1,950	1,632	1,786
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)				
		【17】 小計	3,833	10,777	11,993	13,354
		合計	153,864	322,880	159,955	273,389

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
①	桃田運動公園管理運営事業	施設設備も含め、適正な管理運営を行う。	利用人数(公園を除く)	人	158183	39000	48043	45000
②	桃田運動公園指定管理事業	施設の適正管理とともに、公園利用者の増加に努める。	指定管理件数	件	1	1	1	***
③	岱明、横島、天水地区施設管理運営事業	施設設備も含め、適正な管理運営を行う。	利用人数(公園を除く)	人	185395	123519	133020	130000

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	対象(利用者数(公園を除く))	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
		429158	260301	233528	250000
	投入コスト合計(千円)	153,864	322,880	159,955	273,389
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	1	1	1
	コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(→)	100.00% (→)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
				R01実績	R02実績	R03実績	
1	体育施設等総利用者数	市スポーツ施設を利用した総人数(公園や広場を除く)	人	450000	450000	250000	250000
				429158	260301	233528	
2							

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により、施設の使用を停止したため。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令等で義務づけられている		妥当性評価
	<input type="checkbox"/> 法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす		
	<input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている		
	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている		
	<input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる		a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている		
	<input type="checkbox"/> 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		b
効率性	<input type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している		効率性評価
	<input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい		
	<input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である		
	<input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げるなどにより、コスト削減の余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		b
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している		有効性評価
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した		
	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない		
	<input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる		
	<input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい		c
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ ■ 金額が妥当		0.42 %
	<input type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ □ 設定できる		□ 設定できない理由() [24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により施設を長期間閉鎖または一部制限をしたため利用者数や収入は減少した。令和3年度プロポーザルを実施、令和4年度から桃田運動公園については一時的に直営とし運営を見直し、岱明他7施設は5年間の更新を行った。
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 ■ 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	施設の運営等については各管理者と協議を重ねよりよいサービスが提供できるよう努める。また、令和4年度も引き続きコロナ禍での運営となるため検討協議し対応する。
次年度への予算反映(運動) [27]	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	コロナ禍により、休館しなければならない時期があったため、前年度同様利用人数が少なかったのが現状である。令和4年度も引き続きコロナ禍での運営となるが、コロナ禍でもの開館できるよう注意喚起を十分に行い利用者に安全な利用をしていただく施設を目指したいと考える	評価責任者 小山 晃生
-------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	多目的競技場建設事業		所管課 【2】	スポーツ振興課			
	作成者(担当者)		酒井 裕之				
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり ③スポーツ活動の充実				重点施策 【4】	
	主要施策(節)	(3)体育施設の整備充実と利用促進					□ 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	■ 市長公約 ■ 法令、県・市条例等【 スポーツ基本法 ■ その他の計画【 市教育振興基本計画、玉名市スポーツ推進計画】				】 □ 該当なし		
事業区分 【6】	□ ソフト事業 □ 内部管理事務	□ 義務的事業 □ 計画等の策定及び進捗管理事務	■ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業			
会計区分 【7】	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【	】 款 10 項 6 目 5 細目 3				

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	サッカーの競技人口はスポーツの中でもトップクラスであり、玉名市でも多くの市民がサッカーを楽しんでいる。本市は、熊本県下で公共のサッカー場を唯一保有していない市である。サッカー施設の建設について市民から強い要望があるが、現在の情勢を考えサッカー以外にもラグビー、陸上等できるよう市民が利用しやすい施設を検討する必要があると考える。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	玉名市多目的競技場
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	玉名市に多目的競技場を建設し、多種目に渡り利用、軽スポーツ等の複合利用により幅広い利用者層を確保し、市外から競技者等を招くことで地域活性化の推進や競技スポーツの振興を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	■ 単年度繰返し 【 H26 年度から】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国 □ 県 ■ 市 □ 民間	□ その他【	】
実施方法 【13】	□ 直営 □ 全部委託・請負 ■ 一部委託・請負	□ 補助金等交付	□ その他【
事務事業の具体的内容 【14】	<p>サッカー競技人口が増加傾向にあるが、玉名市は熊本県内の14市の中で唯一サッカー場を保有していない。市長公約であり新市建設計画に掲げるサッカー場の建設について、市の基本構想を策定し、施設の整備方針を定めるとしていたが、社会情勢の変化、ニーズの拡大により多目的競技場で整備していくこととした。</p> <p>【15】 事務事業を構成する細事業(1)本</p> <p>⇒</p> <p>① 多目的競技場建設検討事業</p> <p>②</p> <p>③</p>		

《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 （千円）	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0
		【16】 小計	0	0	0	0
		【再掲】臨時・非常勤職員人件費(千円)	0			
	職員人件費	職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
		会計年度任用職員人工数		0.00	0.00	0.00
				1,950	1,632	1,786
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)				
		【17】 小計	0	0	0	0
		合計	0	0	0	0

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的な内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
①	多目的競技場建設検討事業	サッカー場建設にあたって会議を開催する。	会議回数	回	0	0	0	0
②								
③								

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(会議回数)	R01年度決算		R02年度決算		R03年度決算		R04年度予算	
		0	0	0	0	0	0	0	0
	投入コスト合計(千円)	0	0	0	0	0	0	0	0
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0	0	0	0	0
	コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(一)	0.00%	(一)	0.00%	(一)	0.00%

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
1	2			R01実績	R02実績	R03実績	
1	サッカー場建設の進捗率	建設工事進捗率	%	0	0	0	0
2				0	0	0	
* 成果未達成時の理由							

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令等で義務づけられている		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> 法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす		
	<input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている		
	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている		
	<input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる		
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている		b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している		
	<input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい		
	<input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である		
	<input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げるなどにより、コスト削減の余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		b
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している		
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した		
	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない		
	<input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる		
公平性 【24】	<input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい		c
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	多目的競技場建設のための検討会議は必要であるが、令和3年度は開催していない。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了		
次年度への予算反映(運動) 【27】	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	多目的競技場を整備するには、大規模な用地及び財源が必要であり、早々結論が出るものではないが、再度用地取得や財源の確保と並行して、利用形態や対象競技等の選考を継続して検討する必要がある。サッカー場については、防災拠点整備事業で整備される予定の土砂置き場を整備し、サッカー場として利用していく計画である。	評価責任者 小山 晃生
----------------------	--	----------------